



山口 英彰

前水産庁長官

1961年生まれ。1985年東京大学法学部卒業後、農林水産省に入省。水産庁では協同組合課（企画法令係、1987～1989年）に所属、静岡県水産課長（1997～2000年）に出向。

新漁業法が目指すべき姿と
MELの役割と期待



基調講演

経営局金融調整課長、経営政策課長、大臣官房予算課長、内閣官房内閣審議官、大臣官房総括審議官などを経て、2017年に水産庁次長に就任、2019年7月から水産庁長官。2021年7月退職。



ジェフ・レグナート

責任ある漁業管理(RFM)認証プログラムマネージャー / 漁業コンサルタント

ウェスト・ワシントン大学で生物学を専攻、フンボルト州立大学大学院で漁業・漁業科学修士課程修了。

アラスカ州漁業狩猟局の商業漁業部門ディレクター（2011～2015年）などを経て、漁業コンサルタント・水産政策アナリストとして、水産資源に関するコンサルタントとして活躍。アラスカシーフードマーケティング協会（Alaska Seafood Marketing Institute）およびサーティファイド・シーフード・コラボレーティブ（Certified Seafood Collaborative）のコンサルタントとして、RFM認証プログラムの開発、運営に関わっている。

ビデオメッセージ

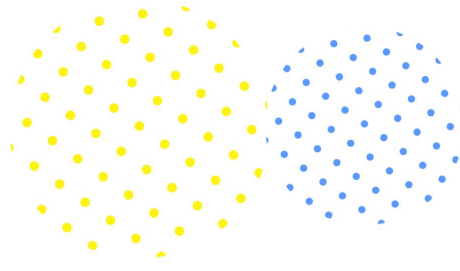




垣添 直也

（一社）マリン・エコラベル・ジャパン協議会 会長

1961年東京水産大学卒業。日本水産（株）入社、1999年～2013年代表取締役社長。この間、大日本水産会副会長、日本冷凍食品協会会長、日



新MELとしての
5年間の活動を振り返り、
明日への種を蒔くために

近況報告

本冷凍食品協会会長、日本冷蔵倉庫協会会長、日本輸入食品安全推進協会会長、食品産業中央協議会会長を歴任。2016年より現職。

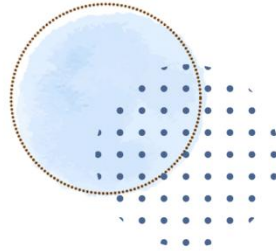


松田 裕之

横浜国立大学大学院環境情報研究院教授 / 理学博士

1957年生まれ。1985年京都大学大学院理学研究科博士課程修了。水産庁中央水産研究所主任研究官（1990～1992年）、九州大学理学部助教授

ファシリテーター



ディスカッション

東京大学海洋研究所助教授を経て2003年より現職。日本海洋政策学会理事、2012年日本生態学会学会賞受賞。主な著書は『環境生態学序説—持続可能な漁業、生物多様性の保全、生態系管理、環境影響評価の科学』（共立出版）、『なぜ生態系を守るのか？環境問題への科学的な処方箋』（共立出版）など。



パネリスト



志村 なるみ

株式会社ABC Cooking Studio 代表取締役兼 CEO

静岡県生まれ。日本最大の料理教室「ABC クッキングスタジオ」創業者。二十歳で起業。それまでにない新たな発想で、従来「花嫁修業」の場であっ

た料理教室を「カジュアルに楽しむ」場として全面ガラス張りの明るく美しい空間に変える。2009年株式会社ABC Cooking Studio 社長退任後、講演・執筆活動を経て2011年4月から3年間、法政大学大学院イノベーション・マネジメント研究科客員教授を務めた後、2014年より香港に移住。日本の料理教室マーケットにおけるブランドエクイティを確立するため2017年1月にABC Cooking Studio 取締役として復帰。2021年1月株式会社ABC Cooking Studio 代表取締役社長兼 CEO に就任。

ディスカッション

◀◀◀◀

パネリスト



阿古 真理

作家 / 生活史研究家

1968年兵庫県生まれ。神戸女学院大学卒業後、広告制作会社を経て1996年よりフリーライターに。1999年に東京へ拠点を移す。現在は食や暮らし、女性の生き方などをテーマに歴

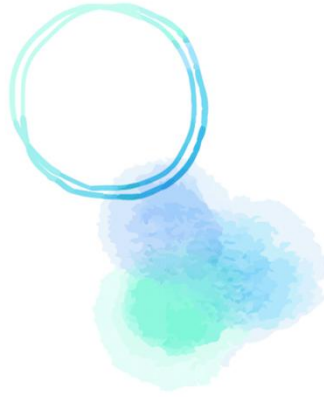
史とトレンドを執筆する。ウェブメディアの東洋経済オンライン、現代ビジネス、FRaU、クックパッドニュースなどで連載するほか、著書多数。主な著書は『ラクしておいしい令和のごはん革命』（主婦の友社）、『日本外食全史』（亜紀書房）、『「和食」って何?』（筑摩書房）、『パクチーとアジア飯』（中央公論新社）、『なぜ日本のフランスパンは世界一になったのか』（NHK出版）、『平成・令和食ブーム総ざらい』（集英社インターナショナル）、『小林カツ代と栗原はるみ』・『料理は女の義務ですか』（共に新潮社）など

ディスカッション

◀◀◀◀



パネリスト



ディスカッション

椎葉 百合子

テレビ番組ディレクター
2001年よりテレビ番組制作会社テレビマンユニオンに参加。テレビ朝日「食彩の王国」、NHK「サラメシ」、NHKワールド「Trails To Oishii Tokyo」など。食に関する番組をこれまで100

本以上制作。日本各地の生産者や料理人など食に関わる人々取材してきた。最近ではNHKのSDGsのキャンペーン番組「未来へ17actionTV」を制作し、環境問題への取り組み方にも注目している。



パネリスト / 参加者



菊池 元宏

北海道漁業協同組合連合会
代表理事副会長

平成19年	北海道漁業協同組合連合会	関連会社統括室長
平成21年	〃	留萌支店長
平成23年	〃	稚内支店長
平成25年	〃	参事
平成28年	〃	代表理事常務
令和元年	〃	代表理事副会長
		現在に至る



大森 敏弘

全国漁業協同組合連合会
代表理事専務

特定非営利活動法人 水産業・漁村活性化推進機構 理事長
(一社) 漁業情報サービスセンター 副会長
全国漁業共済組合連合会 理事
(一社) 大日本水産会 理事



香川 謙二

日本かつお・まぐろ漁業協同組合
代表理事組合長

日本かつお・まぐろ漁業協同組合組合長
(一社) 自然資源保全協会 (GGT) 代表理事
(一社) マリン・エコラベル・ジャパン協議会 理事



松永 賢治

株式会社明豊
代表取締役社長

1996年 (株)南食品入社
2008年 明興水産(株) (現(株)明豊) へ転籍
2012年 明豊漁業(株)設立とともに代表取締役に就任
現在に至る



青木 信也

ニチモウ株式会社
執行役員・海洋事業本部長

(株)ニチモウマリカルチャー 取締役 会長
北海道ニチモウ(株) 取締役
(株)ニチモウワンマン 取締役
(一社) マリノフォーラム21 副会長理事



早山 豊

東京魚市場卸協同組合 理事長
大作早山商店 代表取締役社長

昭和47年4月 (有)早山商店入社 (現(株)大作早山商店)
平成19年5月 代表取締役に就任、現在に至る
東京魚市場卸協同組合 理事長
全国水産物卸組合連合会 会長
(一社) マリン・エコラベル・ジャパン協議会 理事



伊藤 晴彦

中央魚類株式会社 代表取締役社長

中央魚類(株) 代表取締役社長
(一社) 大日本水産会 理事



井上 浩一

株式会社イトーヨーカ堂 マルシェ部
総括マネージャー

(株)イトーヨーカ堂 食品事業部 総括マネージャー
(株)イトーヨーカ堂 鮮魚部 シニアマーチャンダイザー



野崎 博延

株式会社シジシージャパン 常務取締役
商品本部 本部長

2012年5月 生鮮・日配事業部 事業部長
2013年3月 執行役員 商品本部 副本部長 兼 生鮮事業部
事業部長
2016年5月 常務取締役 商品本部 本部長



山口 佳仁

双日株式会社
生活産業・アグリビジネス本部
食料・水産部 部長

飼料輸出入協議会 理事
油糧輸出入協議会 理事
日本油糧輸出組合 監事
(一社) マリン・エコラベル・ジャパン協議会 理事



松本 哲

日本生活協同組合連合会
ブランド戦略本部
サステナビリティ戦略室(水産担当)

1988年 日本生活協同組合連合会 入職
2010年～ 共同開発推進部 部長
2012年～ 東北支所 支所長
2014年～ 水産部 部長
2016年～ 生産原料事業推進室 室長
2017年 商品本部 本部長スタッフ
2022年 1月より現職



千賀 ちひろ

株式会社横浜食品サービス
営業一部

SDGs推進担当として自社の機能を活かし
大手食品スーパー他、学との連携をはかり
商品提案、橋渡し役を担っている



寺島 紘士

日本海洋政策学会 顧問
MELアドバイザーボード

1941年生まれ 1965年運輸省入省、1994年運輸大臣官房審議官
で退官 同年日本財団常務理事、2002年シップ・アンド・オーシ
ョン財団海洋政策研究所長、2005年海洋政策研究財団常務理事、
2015年笹川平和財団常務理事・海洋政策研究所長、2017年笹川平
和財団参与、2019年退職 現在日本海洋政策学会顧問



遠藤 進

公益社団法人 日本水産資源保護協会
専務理事

マリン・エコラベル・ジャパン認証機関
豊かな海づくり大会推進委員会 監事
全国青年・女性漁業者交流会審査委員
JRCA QMS審査員補



内海 和彦

一般社団法人 大日本水産会
専務理事

1957年生まれ 1980年農林水産省入省 那珂湊市水産課長
気仙沼市助役、水産庁資源管理部管理課長
増殖推進部漁業資源課長、資源管理部漁業調整課長
漁政部参事官を歴任し、2018年退職
2019年(一社) 大日本水産会専務理事就任、現在に至る